

杏通信
リニューアルしました!

○医療の窓から

年頭のご挨拶
会長 堀尾 茂之/病院長 西脇 伸二

○ホスピタルLINK

内視鏡センター完成!

○Reborn”新病院の今”

○あんずHOTニュース

- ・AI問診導入しました!
- ・感染症と発熱

○私たちが伝える揖斐の魅力

○部署紹介/放射線科

～ 病院の理念 ～

私たちは良質な医療を提供し地域の皆さまから信頼される心豊かな病院づくりを目指します。

- 患者さんの安心を心がけます
- 地域の健康増進に尽力します
- 医療技術の向上を図ります

JA岐阜厚生連
岐阜・西濃医療センター
揖斐厚生病院

〒501-0696
岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2547番地4
TEL/0585-21-1111
FAX/0585-21-1112
URL/http://www.ibi.gfkosei.or.jp

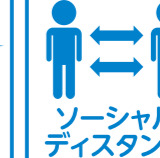
外来診療担当表

外来受付時間/午前8時30分～11時30分

2021年1月1日現在

		月	火	水	木	金	
内科	午前	初診	渡邊 一弘 (循環器)	清水 靖子 (循環器)	水草 貴久 (循環器)	畠山 啓朗 (消化器)	中村 博式 (消化器)
			代務医	代務医	代務医	代務医	代務医
		2診	清水 靖子 (循環器)	代務医	塚本 達夫 (循環器)	代務医	塚本 達夫 (循環器)
		3診	畠山 啓朗 (消化器)	代務医	清水 靖子 (循環器)	渡邊 一弘 (循環器)	代務医
		4診	代務医	水草 貴久 (循環器)	畠山 啓朗 (消化器)	中村 博式 (消化器)	水草 貴久 (循環器)
	5診	中村 博式 (消化器)	代務医	西脇 伸二 (消化器)	西脇 伸二 (消化器)	渡邊 一弘 (循環器)	
午後	特殊外来	-	【NST・PEG外来】 西脇 伸二 (予約診療14:00～16:00)	【血液内科】 代務医 <隔週> (予約診療13:30～16:00)	-	【神経内科】 代務医 (予約診療14:00～16:00)	
		-	-	【もの忘れ外来】 代務医 (予約診療13:00～16:00)	-	-	
外科	午前	1診	佐野 仁哉	林 弘賢	村瀬 佑介	熊澤 伊和生	西尾 公利
		乳腺外来(10:30～)	熊澤 伊和生	西尾 公利	佐野 仁哉	林 弘賢	村瀬 佑介
整形外科	午前	1診	-	代務医(膝) (第1・3・5週) 9:30～11:00	代務医	代務医(股関節) (第1・3週) 9:30～11:00	-
		2診	代務医	-	-	-	-
		3診	代務医 ※第2週	代務医(肩) (第2・4週) 9:30～11:00	-	代務医 (手外科) (第2・4週)	代務医
小児科	午前	1診	伊藤 貴美子	伊藤 貴美子	後藤 加寿美	伊藤 貴美子	伊藤 貴美子
		2診	代務医 (9:00～11:30)	-	代務医 (第2・4週)	-	-
	午後	<予防接種> (15:00～)	<学童再診> (15:30～16:00)	-	-	<学童再診> (15:30～16:00)	
婦人科	午前	1診	古田 典夫	古田 典夫	古田 典夫	古田 典夫	古田 典夫
泌尿器科	午前	1診	伊藤 康久	伊藤 康久	代務医	永井 司	伊藤 康久
耳鼻咽喉科	午前	1診	竹内 秀行	竹内 秀行	竹内 秀行	竹内 秀行	竹内 秀行
皮膚科	午前	1診	藤広 満智子	代務医 (9:30～11:30)	市川 裕子 (9:00～11:30)	藤広 満智子	市川 裕子 (9:00～11:30)
眼科	午前	1診	黒岩 真友子	黒岩 真友子	黒岩 真友子	黒岩 真友子	黒岩 真友子
脳神経外科	午前	1診	代務医	-	代務医	-	-
歯科 口腔外科	初診は 午前のみ	渡辺 二三雄	渡辺 二三雄	渡辺 二三雄	渡辺 二三雄	渡辺 二三雄	
		佐木 宏吉	佐木 宏吉	佐木 宏吉	佐木 宏吉	佐木 宏吉	
人工透析センター		永井 司	永井 司	永井 司	永井 司	永井 司	

感染対策に
ご協力ください



発行

JA岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 揖斐厚生病院

所在地/〒501-0696 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2547番地4
TEL/0585-21-1111 FAX/0585-21-1112 URL/http://www.ibi.gfkosei.or.jp

診療受付時間/8:30～11:30
休診日/土曜・日曜・祝日・年末年始

医療の「窓」から

From the medical window

今号のテーマ

「年頭のご挨拶」



岐阜県厚生農業協同組合連合会
経営管理委員会会長

会長挨拶
堀尾 茂之

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会事業につきまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症対策の最前線に立つ医療従事者・病院に對しまして、多くの心温まる支援金並びに支援助物資等のご援助を賜り感謝申し上げます。

さて、昨年度からの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、終息の兆しさえ見えず長期化している影響から、経済が停滞しており、今後はウィズ

コロナ、アフターコロナの時代に向けた対応や働き方改革の推進等、取り組むべき課題が山積しています。

国は、将来的な人口減少社会を見据えた地域別の医療提供体制の再構築を図るとして、病院・病床再編による地域医療構想の実現を目指してきましたが平時における感染症対応は検討されていませんでした。今般のCOVID-19の感染拡大を受け、再編統合による感染症対応の病床不足や医療従事者の不足が懸念されるとして、新たに新興・再興感染症の対応を協議するとしています。

本会は、公的医療機関として国の

施策や地域の実情を踏まえ、地域に必要な医療を継続的かつ安定的に提供できるよう行政機関・地域医師会等と協力し、医療提供体制の確保に向け取り組んでいるところです。本年

は、岐阜医療圏では岐阜北厚生病院の耐震化施設整備、西濃医療圏では揖斐厚生病院と西美濃厚生病院の病床再編に伴う大野町内での400床規模の新病院建設、東濃医療圏では東濃厚生病院と土岐市立総合病院との統合に向けた新病院計画策定を推し進めてまいります。

医療を取り巻く環境はより厳しさが増すものと予測されますが、「地域

の皆さんから信頼され、必要とされる病院づくり」を目指し役職員一丸となつて取り組む所存です。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げますとともに、本会事業にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



揖斐厚生病院
病院長

病院長挨拶
西脇 伸二

新年明けましておめでとうございます。コロナ禍の中、今までと全く違った新年を迎えられた方も数多くいらっしゃるのではないのでしょうか。昨年の今頃は1年後がこの様な状況になっていたとは夢にも想像できませんでした。

ヒトとウイルスとの闘いの歴史は古来より繰り返されてきました。記録に残る最も古いウイルス流行は、紀元前3000年ごろ中東での麻疹の流行

でした。しかし、この時代は人の移動もほとんどなく、ヨーロッパや中国に伝搬するまで3000年、日本に伝わったのは平安時代とされていますので、4000年かかっています。ところが今回の新型コロナウイルスはわずか数カ月で世界中に広まっています。どんなに対策をとっても、人や物の流れに乗りあつという間に世界中を駆け巡る時代になったのです。今後、ワクチンな

どを用いた予防法も確立し、いくつかの治療法も開発されることでしょう。しかし天然痘などと異なり、様々な手段を用いても撲滅は不可能と考えられています。基本的にはマスク、手洗い、3密をさけるなどの基本的な感染予防対策を継続するしかないでしょう。

コロナとのもう一つの戦いは心の問題です。この感染症の流行で皆さんは大きな不安を抱いていると思います。どこに潜んでいるかわからず、知らぬ間に感染してしまうのではないかと、多くの著名人の命をも奪っており、自分も感染して命に係わるのではないかと。もちろんそのような気持ちは十分理解できます。しかし、それが過剰になると、感染症患者に対する誹謗・中傷に至ってしまう。この心理的な不安はもう一つのコロナとの闘いと考えられています。皆様にお願したいことは、感染した患者さんに対してのバッシングは控えてください。次は自分自身にふりかかる

出来事かもしれません。世の中のすべての人がその被害者になる可能性があります。不幸にして感染してしまった患者さんやご家族に暖かい目を向けて下さい。

当院でも多くのスタッフが最前線で感染症に対する診療にあたっています。スタッフも多くのストレスを抱えながら頑張っておりますので、応援のエネルギーを送って頂ければ有難いです。現在の揖斐厚生病院は古い施設ではあります。感染外来を設置するなど、一般診療に支障をきたさないように工夫しながら診療体制を整えています。また、現在計画中の新病院もさらに進化した対応をとれる設計にしております。今後この地域の方々に安心して受診、相談して頂けるような病院を目指しております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

検査の流れ

①検査前日

夜9時まで夕食を済ませ、繊維質の多いものは避けてください。
夜9時以降は水、お茶、スポーツドリンクで水分摂取をし、それ以外は口にしないようにしてください。
服薬に関しては予約時ご説明させていただきます。

②検査当日

検査2時間前より飲水禁止となります。

③検査の流れ

問診後にプロナーゼ(消泡剤)を飲みます。
経口の場合は、咽頭麻酔を行います。
希望に応じて静脈麻酔をかけて検査を行います。
検査が終わったら少しベットで休んでいただきます。



④検査後

経鼻は直後から、経口は1時間後から飲食可能となります。
検査結果は当日ご説明させていただきます。
(病理結果については、後日となります)

全て消化器内科 専門医施行

～胃カメラ～
9:00～11:30

～胃カメラドック～
10:00～11:30

～大腸カメラ～
午後から

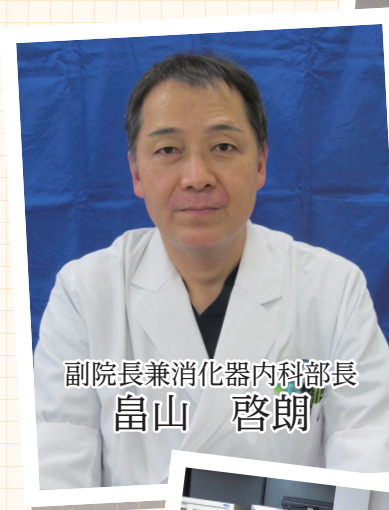
～胃カメラ担当医～

月曜日:西脇病院長
火曜日:畠山副院長
水曜日:中村部長
木曜日:前田医師
金曜日:第1.3.5畠山副院長
第2.4西脇病院長

健康にまつわる選りすぐりの知恵や情報をお届けします。

ホスピタルLINK

内視鏡センター



副院長兼消化器内科部長
畠山 啓朗



Reborn “新病院の今”

新病院施設整備事業の進捗状況

JA岐阜厚生連は揖斐郡大野町にある大野神戸IC付近に、新病院の建設を計画(2023年10月完成予定)しております。この施設整備事業は、地域の方々のご理解とご協力を得て、当院と西美濃厚生病院の病床再編を行い、地域医療を継続的かつ安定的に提供することを目的としております。

今後、この紙面を活用し、新病院建設に関する進捗状況などをお伝えさせて頂き、記念すべき第一回は、令和2年8月4日に執り行われました、「地鎮祭」の様子をお届けします。



内視鏡センター完成!

消化器診療の充実のために以前食堂があった場所を改築して新たに内視鏡センターが完成し、11月上旬より稼働しています。清潔で正確な検査を行えるよう最新の内視鏡システム・洗浄機を揃えています。今までは内視鏡室も狭く、検査後に十分休める場所もありませんでしたが、広いスペースを利用してリカバリールームも設けており、鎮静剤を用いたより楽な検査を受けていただけるようになっています。

大腸内視鏡検査も前処置から検査、説明までの一連を内視鏡センターで行うことができ、こちらも希望に応じて鎮静剤を用いた検査も受け付けています。
胃がん検診においても、最近では全国的にバリウムによる透視検査より内視鏡による検査が増えてきており、当院でもそれに対応できるよう検査数を増やしています。また、超音波内視鏡による膵・胆道系の精査も行っており、幅広い検査に対応しています。なお、内視鏡検査については内科外来・外科外来でお尋ねください。

私たちが伝える“揖斐の魅力”



看護部長
宗宮 知香

好きな言葉
思いやり

私は揖斐厚生病院に勤務して今年度で30年になります。

これだけ長く勤務することができたのはこの病院の温かさだと思います。

山、川に囲まれた自然豊かな土地柄ということもあるかもしれませんが、先輩をはじめとする看護師の皆さんと様々な他職種の方々、何より地元に住んでいらっしゃる患者さんの一言や心温まるエピソードがたくさんあります。周りの方々に支えていただき看護師として働くことができています。これからも揖斐厚生病院、そして地域の方々に恩返しする気持ちで、皆様の健康な暮らしを支援できる病院を目指して努力していきたいと思っております。



看護部長
川瀬 徳子

好きな言葉
感謝

私は看護師となり、揖斐厚生病院に勤め22年が経ちました。当院の魅力は「チーム医療の充実」だと思います。

私は、「栄養サポートチーム」に所属しています。医師や看護師、薬剤師、リハビリ、管理栄養士などの各医療専門職が連携し、患者さんにとって、どの様な支援が必要か意見を出し合って、適切な栄養療法を提案しています。患者さんの笑顔や元気になる姿はチームみんなの遣り甲斐です。

これからも、患者さんの想いに寄り添った看護が提供できるように、努めていきたいです。

部署紹介

「放射線科」



当院の放射線科は、診療放射線技師12名（うち女性技師5名）、看護師4名で構成されています。

診療放射線技師とは、医師の指示のもとで主に放射線を用いた検査及び治療業務を行う職業です。

業務としては、単純X線（レントゲン）検査、CT検査、MRI検査がよく知られていますが、ほかにも消化管造影検査、血管造影検査、乳房X線撮影（マンモグラフィ）、核医学検査、超音波検査、骨密度検査などの検査にも携わっています。

また、患者様への放射線被ばくの管理、画像診断装置のメンテナンス、医用画像の保存、管理等も行っています。

私たちは患者様へ明瞭かつ正確な質の高い画像を提供できるように、各種認定取得・勉強会など常に知識と技術の向上に努めています。

検査について不安な点やご不明な点等ありましたら、お気軽にご相談ください。

あんずHOTニュース

揖斐厚生病院の気になる「HOTなニュース」をお届けします。

NEWS 1

AI問診導入しました！



当院は、令和2年10月より、AI（知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせる人工知能）を駆使したタブレットによる事前問診を取り入れております。診察前に、患者さんの症状に見合った簡単な質問に答えていただき、それらがデータ化され、医師・看護師に伝わります。上手く症状を伝えられないなどの不安が解消され、待ち時間を行うことで、診察までの時間を有効に利用することができます。

また、近年世界中を取り巻く、新型コロナウイルスの流行発生により、事前問診を行うことで、早期に発見・対応ができ、診察室での滞在時間を短縮することで感染リスクを抑えることにもつながります。

タブレットの操作に大きな不安を持たれる方もいらっしゃいますが、スタッフが寄り添い、サポートさせていただきますので、お気軽にお声がけください。

NEWS 2

感染症と発熱

感染症とは、病気を引き起こす目には見えない微小な生物（細菌やウイルスなど）が体内に侵入し、増殖・生存することによっておこる病気です。感染症には、「人から人にうつるもの」や、「ひとはうつらないもの」また、「体内に侵入しても症状が出ないもの」「それ以外の感染症」があります。感染して発病すると、その部位によって、発熱や咳、関節の痛み、下痢などの症状が出ます。なかでも発熱は、感染症の多くにみられ、特に冬に多いA型インフルエンザは、高い熱が特徴的です。ノロウイルスなどの感染性胃腸炎においても、発熱がみられることが多く、話題の新型コロナウイルス感染症も肺炎となり発熱する場合があります。このように、感染症と一口に言っても、様々なものがあり、一般的な風邪も感染症のひとつです。発熱を伴うことで体力を消耗することがあります。そこで、「予防は治療に勝る」感染を起こさないように防御することが一番の感染対策になります。

感染防御に大切なのは、正しい手洗い、正しいマスク装着、定期的な環境の清掃などの感染対策です。当院では、患者さんの安全のために手指衛生に力を入れています。

さあ、みんなで手をあらおう!!



正しいマスクの着用

